

ガラス・陶磁器の再資源化について

1. 会社

ガラスリソーシング株式会社
千葉県銚子市春日町 740-1
TEL 0479-24-6651

2. 受け入れ品目

一般家庭から出された、ガラス・陶磁器・鏡

3. リサイクル製品

リサイクルガラス造粒砂^{ぞうりゅうすな}「サンドウェーブG」

4. リサイクルガラス造粒砂「サンドウェーブG」の用途

製品の主要用途は、基本的には山砂・川砂等の自然砂の代替であるが、以下の工事に最適である。

- (1) 軟弱地盤改良資材(サンドコンパクションパイル・サンドドレーン)
- (2) 暗渠排水用骨材(貯留浸透、全天候型グラウンド、ヒートアイランド防止、農地排水等)
- (3) 路床材(ガス管・上下水道等地下埋設物の埋め戻し)
- (4) 舗装用骨材(透水性・視認性を向上させたアスファルト舗装等)
- (5) 液状化防止工事

5. リサイクルガラス造粒砂「サンドウェーブG」の特徴

- (1) 今まで廃棄、埋立処分されていたガラスびんやガラスくずを100%原料とするリサイクル材であり、資源の有効利用および埋立地の延命を図る。
- (2) 鋭利なファセット^{へきかいめん}(劈開面)がなく、土壌における環境基準をクリアした安全な造粒砂である。
- (3) 自然砂に比べ、粒度や性能にバラツキ(工場生産のため、地層による粒度が変化の心配がない)が無く、経時変化(腐食、劣化、性能ダウン等)もない。
- (4) 透水性が高い。
- (5) 現場締固めにおいて、含水比の影響が少なく一定の密度が得られる。
- (6) 力学特性も山砂と比べて同等以上。
- (7) 山を伐採し砂を採取するのに比べ、自然環境破壊をしないと同時に、30%のCO2削減ができる。

6. 処分費

約 24 円～ 25 円/kg (収集運搬費込み)

7. 他市の状況

(1) 東京都町田市 25 円/kg (運搬費込み)

町田市は、平成 20 年度よりガラス類・陶磁器類を市民が直接持ち込める「リサイクル広場まちだ」を開設した。そこで、集められたガラス類・陶磁器類をガラスリソーシング(株)に委託し、再資源化を図っている。

発生量の内訳は、陶磁器類(茶碗、皿、花瓶、素焼き物含む)が 85% 程度、ガラス類(コップ、灰皿、耐熱ガラス、化粧ビン、割れたびん、水槽等)が 15% 程度の割合とのこと。

引取方法は、ガラスリソーシング(株)の車両にて行うが、町田市にストックヤードが無い為 10t 車アームロールコンテナを設置している。コンテナに積載量が溜まった段階で連絡し、コンテナを交換することを行っている。

リサイクル広場まちだ

場所	町田市下小山田町 3767-20
持込み日	月曜日から土曜日(祝日、年末年始を除く)
持込み時間	午前 8 時 30 分から午後 4 時まで

(2) 柳泉園組合(東久留米市・清瀬市・西東京市) 24 円/kg (運搬費込み)

柳泉園組合は、容器包装リサイクル法に基づいて、収集されたびんを手選別で色分けを行い、手選別で除かれた不適物を不燃のラインで処理した後、埋立処分を行っていた。しかし、平成 17 年度よりリサイクル率の向上及び破碎機の刃の消耗を抑制するためにガラスリソーシング(株)へ委託し、再資源化を図っている。

びんの手選別で除かれた不適物は、ガラス残渣として契約を行っており、キャップやラベル、容リ協会基準に適合しないガラス類、陶磁器類なども含まれている。

引取方法は、柳泉園組合にストックされているガラス残渣を、ガラスリソーシング(株)の車両で引取に来る。